

クラス番号	908	ゼミタイプ	多職種連携型
		担当教員名	横井 優子
テーマ	子どもと家族の臨床―支援をつなぐために―		

ゼミナール概要

目的、内容、方法等：

子どもや家族に関わる臨床では、子どもが育っていく過程で、様々な支援が必要になります。子育ての際に、様々な理由から周囲の支援が必要な親や、発達障がいなどのため、通常の子育てでは関わるのが難しい子ども達もいます。児童虐待など、子育ての難しさから起こる問題もあります。

それらの問題に取り組むには、単独の機関で関わるのではなく、いろいろな機関が関わり、ネットワークを作り、それぞれの役割を担っていくことが必要になります。

また継続的な支援も必要になります。乳幼児では、保健センター、保育所・幼稚園・子育て支援センターなどにつながる子育て支援の流れがあります。また、保育所・幼稚園での支援を小中学校へとつなげ、不登校や学校で起こる不適応の問題を防ごうという試みが行われています。

それらの支援をつないでいくネットワークを作っていくことが重要になります。現在では、支援が必要な子どもたちの個別の支援計画を作成して、支援をつないでいます。多職種が連携していく場合には、それぞれの専門性や立場を踏まえて協働していく必要があります。

様々な視点から、子どもや保護者への支援を考えていきます。

授業計画：

1. ゼミ生同士で相互理解を図り、コミュニケーションが取れるようにグループワークを取り入れます。
2. フィールドワークで、実践の場の見学等を踏まえて、自分なりにテーマを絞り、自分なりの見方や理解を整理してまとめます。
3. 前期に課題を出しますので、課題をもとにレポートを作成します。そして、レポートをもとに、口頭発表します。
4. 後期には、自分の興味関心を自分の好きな作品をまとめ、他のゼミ生に紹介してもらいます。自分が感動したことや、ものの見方を他の人に口頭で紹介し、レポートにまとめることで発表や文章にすることに慣れていきます。自分がそう思ったというだけではなく、客観的に説得できる内容であることが必要です。

担当教員からのメッセージ



フィールド実践演習では、現場の見学等を踏まえながら、課題を発展させて、自分の興味関心の対象を絞っていくことが課題となります。そして、自分の考えを文章にまとめること、ディスカッションすること、発表することに慣れていきます。自分のとらえ方や考えを他者に理解してもらうように伝えることを実践していきます。

ゼミを休まず出席することなど、実践の場に出ますので、社会人としてのルールを守りましょう。

他のゼミ生の意見に耳を傾け、自分の意見が話せる、そこからまた新しい視点が見つかる、そんな暖かいゼミにしたいと考えています。